

ご出演の皆様、本日はお疲れ様でした。

今年はコロナ禍に関わらず沢山の皆様にご参加いただいたこと、とても嬉しく思います。

YJPC の形になってバロック作品の課題曲が増え、出場者の皆様にとっては難易度がより高まったことと思いますが、バロックや古典の曲を勉強することは、クラシック音楽の基本であり土台となり、とても良い経験になります。

自由曲はそれぞれの良さを発揮されて良い印象を受けましたが、バロック作品（課題曲）は、まだまだ課題を残されたことと思います。

しかし、バロック作品の声部の弾き分けや、一人二役の演奏はとても音楽的で基礎としても重要です。ぜひコンクールに関わらず日頃から取り組んでください。

今回の開催にあたり、保護者の皆様や指導者の先生方の熱意やお力添えいただきましたこと、改めて感謝いたします。

来年も引き続き皆様のご協力を賜り、文化の発展に繋げていきたいと思っております。

今年は表彰式を行えなかったことがとても残念でしたが、来年はコロナも収まって、いつも通りのコンクールを開催できますことを心よりお祈りいたします。

皆様もコロナに負けることなく、来年に向けて共に頑張ってください。

林 佳 史